

千里国際学園 中等部・高等部

シリーズ「世界は千里でひとつになる The World Comes Together in Senri」 第18回

未来に向かって 校長 大迫弘和

この「シリーズ 世界は千里でひとつになる The World Comes Together in Senri」の連載を開始したのは2004年10月に発刊された『INFOE』創刊号でのこと。今回、まず『INFOE』の創刊20号を心からお祝いし、またずっとがんばり続けている松本輝彦さんに、学園として、また私個人として、心からの敬意と賞賛を送りたいと思います。

さてこれまでのこのシリーズは次（下の表）のようでした。

こうして眺めてみると千里国際学園の教育についてずいぶんたくさん紹介をさせていただいてきたなと実感します。と同時に、千里国際学園の教育についてはまだまだ書ききれていないことがたくさんあって、このシリーズを永遠に続けていけそうな気もするのです。千里国際学園の教育内容を皆さんにお伝えしている千里国際学園の先生方、それは「夢」を共有しているすばらしい先

生方なのですが、まだまだこの場に登場していない先生が何人もいます。書く内容にも、書き手にもまったく困らない学園、それが千里国際学園という学校なのです。

さて、学校という場所は、その主人公たる子ども達が、毎年次から次へと入れ替わっていく場所です。千里国際学園でも最大でも6年という時間が過ぎると、子ども達は次の場所に旅立ちます。主人公である子ども達が変わっていきますので、学校という場所では、毎年毎年同じ事を繰り返しても、新しいなかが生み出されていきます。

そのように考えると、学校では、その学校なりのある形が出来あがれば、それをひたすら繰り返していくということで、役割を十分に果たせることにもなるでしょう。伝統のようなものもそのようにして形作られてもいくのでしょうか。

回	タイトル	担当	執筆者
第1回	千里国際学園という学校	校長	大迫 弘和
第2回	千里国際学園の英語教育	アドミッション / 英語科	井藤 眞由美
第3回	千里国際学園の授業	教務センター長 / 理科	真砂 和典
第4回	千里国際学園の5Respects	教頭	平尾 公美洋
第5回	たかがスポーツ、されどスポーツ	保健体育科	平井 太佳子
第6回	授業紹介：英語科選択科目『バイリンガリズム』	アドミッション / 英語科	井藤 眞由美
第7回	進路情報室の紹介	進路情報室 / 理科	新見 真人
第8回	千里国際学園でのリサーチとプレゼンテーション - そのバックアップとしての図書館	図書館 / 総合科	青山 比呂乃
第9回	アメリカの大学へ進学した卒業生たち	アドミッション / 英語科	井藤 眞由美
第10回	新たな教育の可能性を求めて 無人島キャンプと授業の融合 『現代文明を見つめなおす』	理科	田中 守
第11回	世界のどこに進学・活躍しても通用するスキル！ SIS での国際的教育とは・・・	SIS & OIS 社会科	ダッタ・シャミ
第12回	Authentic Opportunities: Visual Arts Classes at SIS (本物に触れる教育：ビジュアルアートの授業より)	美術科	Leanne Stephen
第13回	数学の授業ではグラフ電卓を有効利用	数学科	馬場 博史
第14回	SIS のバイリンガル環境	英語科	Catherine Brown
第15回	The Music Program at Senri/Osaka International School	音楽科	John Secomb
第16回	A Bilingual Environment SIS のバイリンガル環境	英語科	Catherine Brown
第17回	千里国際学園の授業：国語科と日本語科	国語科	福島 浩介